

説明資料

第86期 2021年3月期 第2四半期決算説明会

2020年11月2日



三和ホールディングス株式会社
www.sanwa-hldgs.co.jp

■はじめに

- 1. コロナ禍における当社グループの状況 ……4
- 2. 第三次中期経営計画の進捗と最近の業績推移 ……5

■2021年3月期 第2四半期（実績）

- 3. 決算ハイライト ……7
- 4. 売上・営業利益実績（セクター別） ……8

■2021年3月期 通期（予想）

- 5. 通期予想ハイライト ……10
- 6. 売上・営業利益予想（セクター別） ……11

■第三次中期経営計画の進捗

- 7. 基本戦略の進捗①～⑤ ……13
- 8. 財務ハイライト ……20

◆参考資料

- 1. 連結業績の概要（セクター別） ……23
- 2. 主要商品売上動向（セクター別） ……24
- 3. 日本：製品別受注高・売上高（三和シャッター工業） ……25
- 4. 米州：製品別売上高(ODC) ……26
- 5. 欧州：製品別売上高(NF) ……27
- 6. 外部環境 ……28
- 7. 主要経営指標 ……29
- 8. SVAツリー ……30
- 9. 設備投資額と減価償却費 ……31
- 10. トピックス ……32

「予想」に関する注意

当資料に記載されている内容は、様々な前提に基づいたものであり、記載された業績予想、各施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

はじめに

2021年3月期 第2四半期（実績）

2021年3月期 通期（予想）

第三次中期経営計画の進捗

1. コロナ禍における当社グループの状況



当社事業における工場の操業停止や現場の中断等の直接的な影響は、地域差もあるが全体としては限定的であった。経済活動の再開に伴い、需要は当初想定以上に回復してきているものの、下期以降の動向には不透明感が残る。さらに感染再拡大により、再度、経済活動の制限も懸念される。

《地域別の状況について》 2020年10月30日現在

地域	地域市場の状況	当社の稼働状況	業績動向
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅着工等は減少傾向が続いている ・非住宅市場は、eコマース関連による物流センターの建設需要は強いものの、オフィス、工場など全般的に縮小傾向 	<ul style="list-style-type: none"> ・各工場は大きな影響を受けず通常稼働 ・施工は一部建設現場の中断があったものの、現在は通常に進捗 	<p>上期実績は予想以上となったが、短納期物件の決着遅れや点検の後ずれなどが発生し、下期も不透明感が残る</p>
ODC (米国)	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅市場は急速に回復 ・設備投資など非住宅建設市場は軟調 	<ul style="list-style-type: none"> ・州政府よりEssential Business(必要不可欠な事業)と認定され、一部の工場にて一時的に操業停止となったが、現在は全工場にて通常稼働 	<p>非住宅用ドアは減速が続くが、住宅用ドアは住宅市場回復により好調となり、住宅用開閉機も大幅な増収を見込む</p>
NF (欧州)	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅市場は2Q落ち込んだが回復基調 ・非住宅建設市場は軟調が続いている ・4Qのコロナ感染リスクが拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・イタリア、フランス、スペイン、イギリスの工場は3月中旬～5月上旬に操業停止になったものの、現在は通常稼働 	<p>上期売上は予想を上回ったが減収となった。下期はイタリア、フランス、イギリスなど影響の大きかった国でも回復を見込む</p>
アジア	<ul style="list-style-type: none"> ・中国のGDP(7-9月)は大きく回復 ・台湾、ベトナムの落ち込みは少ない 	<ul style="list-style-type: none"> ・上海、香港、台湾にて一時操業停止になったものの(2・3月) 現状は通常稼働 	<p>上期は業績回復傾向となったが、通期では赤字予想</p>

ビジネス機会の新たな創出
(32ページ参照)

- ニューノーマル対応商品の開発・提案

働き方改革のさらなる推進
(18ページ参照)

- 柔軟な働き方の実現
- 生産性の向上

2. 第三次中期経営計画の進捗と最近の業績推移



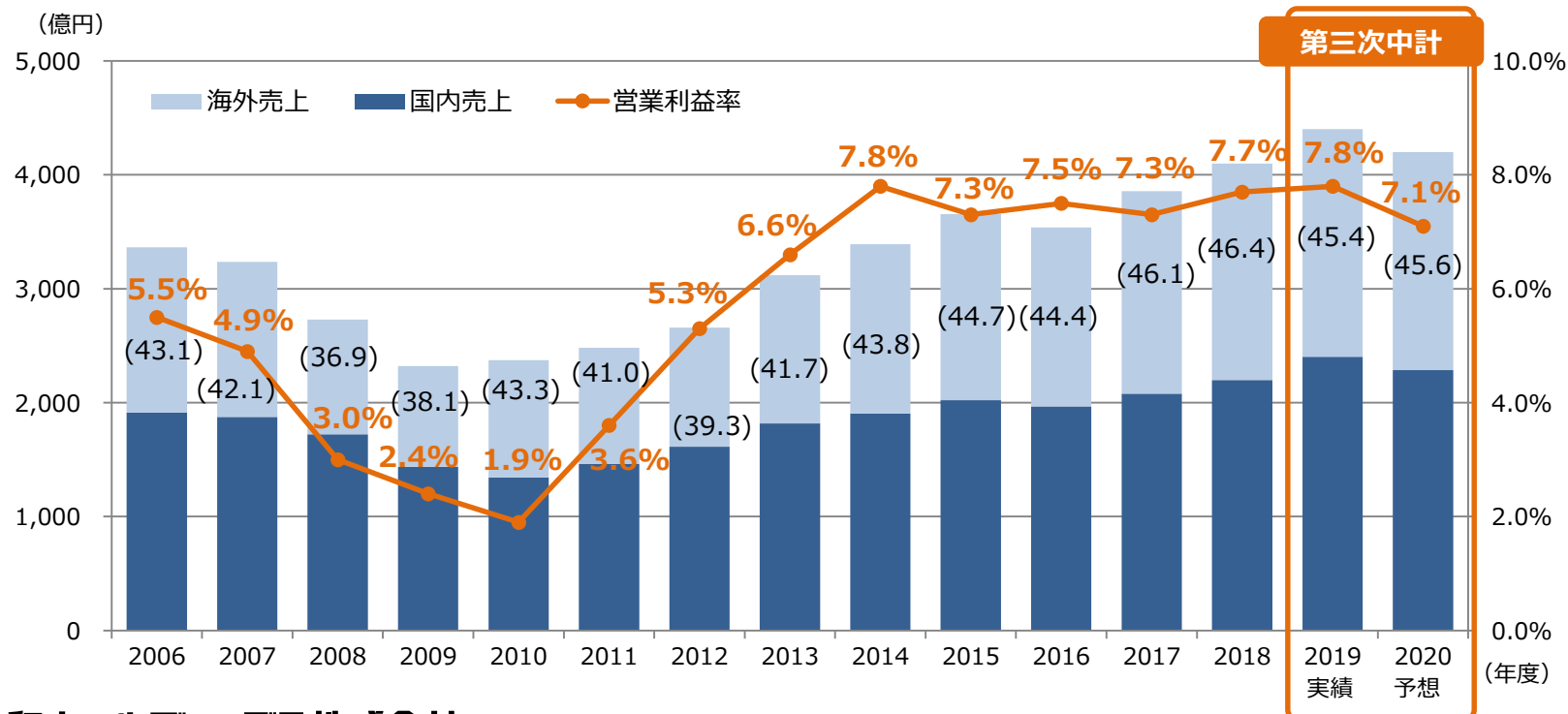
単位：億円

第三次中期経営計画(2019～2020年度)の進捗

- ・コロナ禍での厳しい環境の中、上期実績・通期予想ともに期初から大幅上方修正。
- ・中期経営計画については、当初目標には未達の見込み。

	20年度上期実績	20年度上期期初予想	20年度修正予想	20年度期初予想	当初中計目標
売上高	1,909	1,780	4,200	3,900	4,500
営業利益	96	51	300	220	375
営業利益率	5.0%	2.9%	7.1%	5.6%	8.3%
SVA (注1)	-	-	112	54	159
ROE (注2)	-	-	10.6%	7.5%	14.1%

(注1) 加重平均資本コスト(WACC)は6%、税率33%で計算
(注2) 株主資本コストは8%を目処



為替レート	2019	2020 (修正予想)
1ドル	109.24	105.00
1ユーロ	122.15	*120.00

※期初予想 115円から修正

はじめに

2021年3月期 第2四半期（実績）

2021年3月期 通期（予想）

第三次中期経営計画の進捗

3. 2021年3月期 第2四半期 決算ハイライト



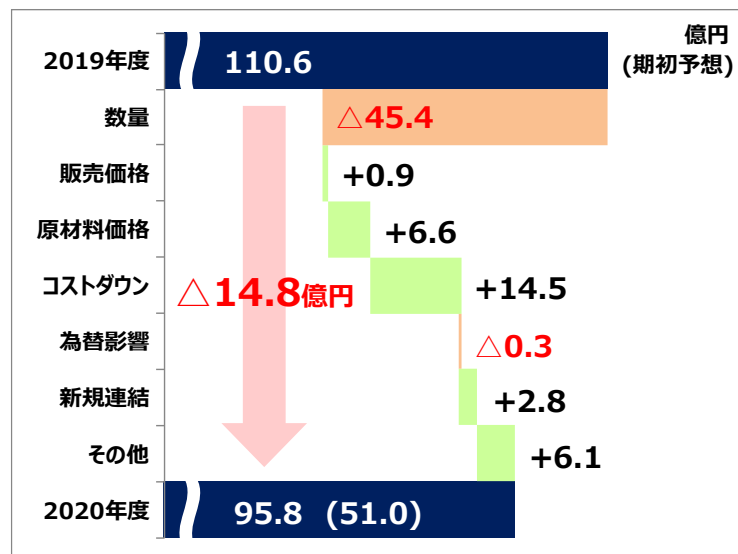
(億円、%)

《上期連結実績》	上期実績	予想	予想比(額)	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	1,909 [1,931]	1,780	+129 [+151]	1,992	▲83 [▲61]	▲4.1 [▲3.1]
営業利益	95.8 [96.1]	51.0	+44.8 [+45.1]	110.6	▲14.8 [▲14.5]	▲13.4 [▲13.1]
経常利益	90.7 [90.9]	46.0	+44.7 [+44.9]	107.9	▲17.2 [▲17.0]	▲15.9 [▲15.7]
親会社株主に帰属 する当期純利益	58.1 [58.2]	23.0	+35.1 [+35.2]	69.5	▲11.4 [▲11.3]	▲16.4 [▲16.2]

為替レート	2019上期	2020上期
1ドル	109.97	108.24
1ユーロ	124.07	119.40

【 】内は、19年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したものです。

営業利益増減分析 (連結)



要約	概要
売上高	コロナ禍において売上、各利益ともに期初予想を上回ったが、連結実績は減収・減益となった
営業利益	・連結で期初予想を上回ったものの、N F の▲8.4% (現地通貨ベース) を始め、三和シャッターやO D C においてもコロナ影響により減収となった
経常利益	・連結では、期初予想を大幅に上回ったが、数量減少が大きく影響し、コストダウンに積極的に取り組んだものの、前年比▲13.4%の減益となった
親会社株主に帰属する当期純利益	・期初予想を大幅に上回ったが、連結実績では▲15.9%の減益となった ・持分法投資損益は、前年比悪化したもののほぼ予想通りとなった
	・期初予想は上回ったが、連結では▲16.4%の減益となった 特別損益は前年比+2.1億円の改善

4. 2021年3月期 第2四半期 売上・営業利益実績 (セクター別)



【売上高】

【営業利益】

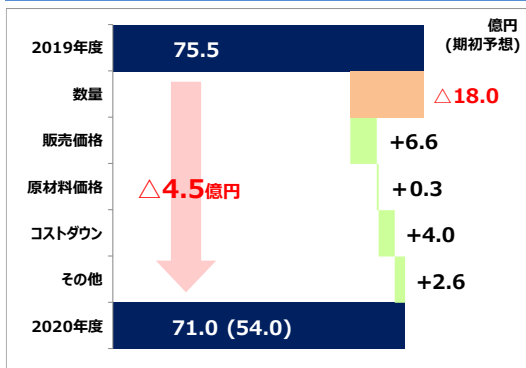
(億円、百万\$、百万€、%)

	【売上高】			【営業利益】				
	19年度 上期	20年度 上期	前年比 (率)	19年度 上期	利益率	20年度 上期	利益率	前年比 (率)
三和シャッター	937	873	▲6.7	75.5	8.1	71.0	8.1	▲6.0
国内子会社	188	234	+24.7	2.0	1.1	5.3	2.3	+162.3
ODC (米国)	513	498	▲2.9	24.6	4.8	19.9	4.0	▲18.9
	564	539	▲4.5	27.0		21.6		▲20.2
NF (欧州)	294	270	▲8.4	10.9	3.7	△0.1	▲0.0	(-)
	365	322	▲11.8	13.5		△0.1		(-)
アジア	26	29	+10.0	△1.3	▲5.1	0.3	1.2	(+)
連結	1,992	1,909	▲4.1	110.6	5.6	95.8	5.0	▲13.4

※各セクターには、相殺項目があるため、合計しても連結の数値とは一致しません

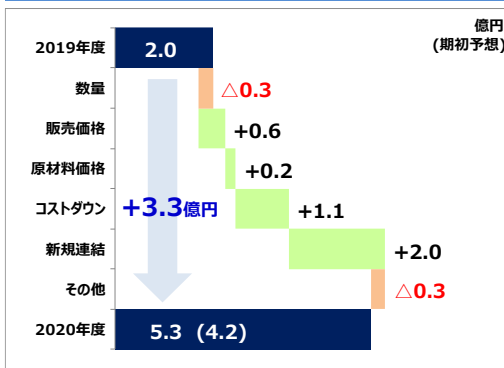
為替レート	2019上期	2020上期
1ドル	109.97	108.24
1ユーロ	124.07	119.40

三和シャッター



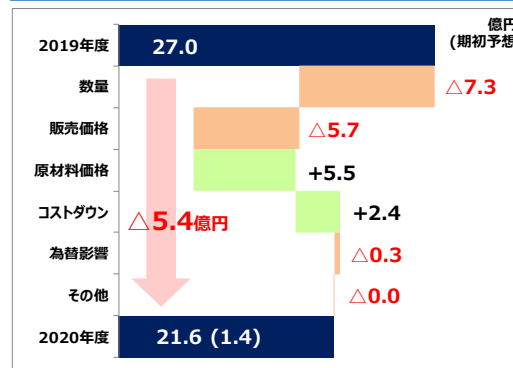
数量減少影響が大きかったが、販売価格アップおよびコスト削減に取組み、減益幅を縮小するように努めた

国内子会社



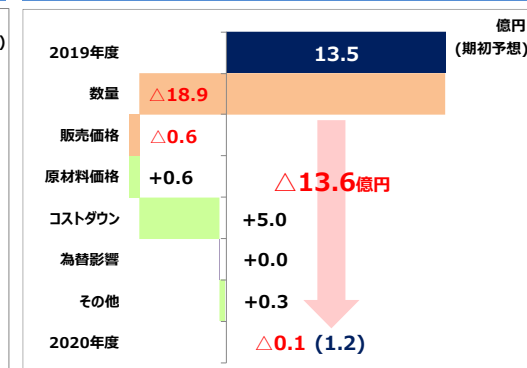
販売価格効果およびコスト削減効果、また鈴木シャッターの連結効果により増益となった

ODC



コロナ影響による数量減、ミックス悪化による販売価格下落を、原材料価格下落効果およびコストダウンで減益幅の縮小に努めた

ノボフェルム



コロナ影響が日米より厳しく、数量減少が大きく、積極的にコストダウンに取り組んだものの大幅な減益となった

はじめに

2021年3月期 第2四半期（実績）

2021年3月期 通期（予想）

第三次中期経営計画の進捗

5. 2021年3月期 通期予想ハイライト



《通期連結予想》

(億円、%)

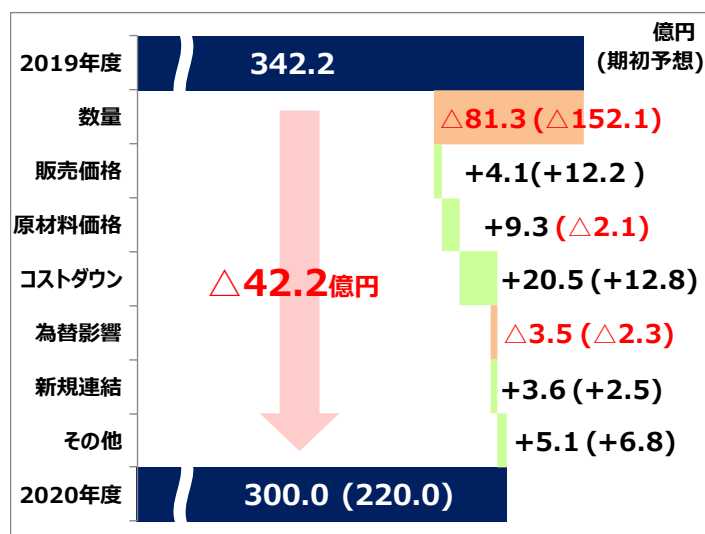
	通期予想	期初予想	予想比(額)	前年実績	前年比(額)	(率)
売上高	4,200 【4,259】	3,900	+300 【+359】	4,402	▲202 【▲143】	▲4.6 【▲3.2】
営業利益	300.0 【303.5】	220.0	+80.0 【+83.5】	342.2	▲42.2 【▲38.7】	▲12.3 【▲11.3】
経常利益	290.0 【293.2】	210.0	+80.0 【+83.2】	334.7	▲44.7 【▲41.5】	▲13.4 【▲12.4】
親会社株主に帰属 する当期純利益	180.0 【182.3】	125.0	+55.0 【+57.3】	216.5	▲36.5 【▲34.2】	▲16.8 【▲15.8】

為替レート	2019	2020予想
1ドル	109.24	105.00
1ユーロ	122.15	※120.00

【 】内は、19年度為替レート適用の数値。前年との実質対比のために表記したものを。

※期初予想 1 1 5 円から修正

営業利益増減分析 (連結)



要約	各セクターとも、売上、各利益を期初予想から大幅に上方修正したが通期では減収・減益の予想
売上高	<ul style="list-style-type: none"> ・連結では▲4.6%の減収予想 ・三和シャッターは▲6.4%、NFは▲4.5%（現地通貨ベース）とコロナ影響による減収予想となったが、ODCは住宅市場回復の影響もあり+0.7%（現地通貨ベース）の微増収を予想
営業利益	<ul style="list-style-type: none"> ・連結では対前年比▲12.3%の減益予想 ・コロナ影響による数量減少が予想より縮小することや原材料、コスト削減効果などにより期初予想比+80億円の見通し
経常利益	<ul style="list-style-type: none"> ・期初予想比+80億円と修正したものの、対前年比▲13.4%の減益予想 ・持分法投資損益は前年比▲1.6億円の悪化予想
親会社株主に帰属する当期純利益	<ul style="list-style-type: none"> ・期初予想比+55億円と修正したものの、前年比▲16.8%の減益予想 ・特別損失として一部減損の計上を見込む

6. 2021年3月期 通期 売上・営業利益予想 (セクター別)

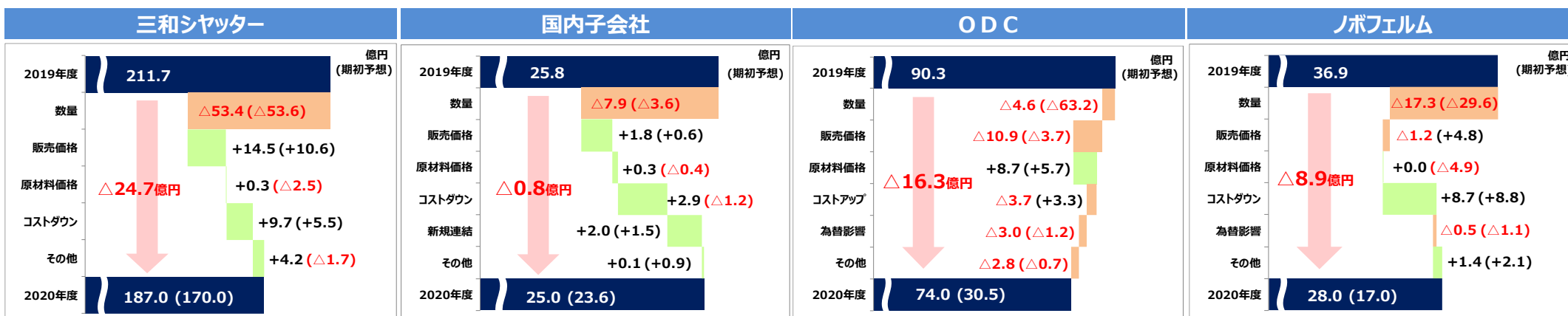


	【売上高】			【営業利益】				
	19年度	20年度	前年比(率)	19年度	利益率	20年度	利益率	前年比(率)
三和シャッター	2,104	1,970	▲6.4	211.7	10.1	187.0	9.5	▲11.7
国内子会社	512	528	+3.2	25.8	5.0	25.0	4.7	▲3.1
ODC(米国)	1,085 1,185	1,092 1,147	0.7 ▲3.2	82.7 90.3	7.6	70.5 74.0	6.5	▲14.8 ▲18.1
NF(欧州)	613 749	586 703	▲4.5 ▲6.1	30.2 36.9	4.9	23.3 28.0	4.0	▲22.8 ▲24.2
アジア	64	65	+1.3	△3.5	▲5.4	△3.0	▲4.6	(+)
連結	4,402	4,200	▲4.6	342.2	7.8	300.0	7.1	▲12.3

為替レート	2019	2020予想
1ドル	109.24	105.00
1ユーロ	122.15	※120.00

※期初予想 115円から修正

※各セクターには、相殺項目があるため、合計しても連結の数値とは一致しません



大幅な数量減の影響を販売価格アップやコスト削減により一部補うものの、下期は期初予想並みの利益見通しとなり、減益となる見込み

大きな数量減影響を、販売価格値上げやコスト削減、鈴木シャッター連結効果により補い、僅かな減益幅に抑える見込み

コロナによる大幅な数量減予想は縮小するものの、販売価格、コストは悪化し、大幅な減益見通し

厳しい状況の中、コストダウンに積極的に取組み、原材料価格効果もあるものの、数量減の影響を補えず、大幅な減益見通し

はじめに

2021年3月期 第2四半期（実績）

2021年3月期 通期（予想）

第三次中期経営計画の進捗

7. 基本戦略①：コアビジネスの事業領域拡大と強化（日本）



各事業分野でのポジション確立による、動く建材企業としての成長



コア事業：シャッター、ドアの収益性確保

- ・ 売価アップ：取付工事、物流コストなどの販売価格への転嫁を継続
- ・ 受注拡大：大型物流センターの旺盛な需要からの重量シャッター取り込み強化
- ・ 防災商品：異常気象・大型台風の対応として「耐風ガード」シリーズを強化



多品種化事業：間仕切、防水商品など～グループ連携による拡大

- ・ 間仕切：グループ連携による学校間仕切の拡大およびコロナ対応商品の拡充
- ・ フロント：個別防火認定品の品揃え強化とグループ連携による受注拡大
- ・ 防水商品：建物における電気設備の浸水対策ガイドラインに沿った防水商品提案



サービス事業：コロナ影響における修理、メンテ、法定検査の遅れを挽回

- ・ 法定検査関連：点検数拡大に加えて、検査後修理見積の積上げに注力
- ・ 災害復旧対応：災害復旧に全社をあげて対応し、社会インフラ維持に貢献
- ・ スtock活用：トレーサビリティ強化によるサービス対象の網羅的管理



供給力強化：生産、物流、施工力の強化

- ・ 生産能力：納期管理システム導入による生産供給対応の強化
- ・ 省力化：セット搬入、一体化工法など部門横断的な省力化をさらに強化
- ・ 施工強化：施工人員の確保、施工工程管理システムによる業務改善

7. 基本戦略①：コアビジネスの事業領域拡大と強化（米国）



ODC：コア事業の維持・拡大と共に、周辺事業分野への参入



ドア事業

住宅用Retrofit(改築向け)の強化

- ・ 大都市圏などのチャネル拡大施策を継続
- ・ エンドユーザープロモーションの実施やホームセンターへの再参入によりシェア獲得

商業(非住宅)用ドアの拡大

- ・ 戦略的価格によるシェアアップ
- ・ 新規代理店、販売店を追加およびサービス事業強化

新ERP導入

- ・ コロナ影響によりスケジュールを1年延期



開閉機事業

Wi-Fi接続商品など新商品開発拡充

- ・ ビルダー向けWi-Fi接続商品の開発
- ・ ホームセンター向けの新商品拡充

リテール戦略

- ・ ホームセンター店舗でのプロモーション実施、またeコマースチャネルが伸長

住宅用シェア拡大

- ・ 住宅市場回復のなか、リテール戦略強化とeコマースにより、シェア大幅拡大



自動ドア事業

コロナ禍での対応強化

- ・ 医療施設向けの需要が好調なため、新商品を順次投入

7. 基本戦略①：コアビジネスの事業領域拡大と強化（欧州）



N F：産業用製品のさらなる強化とNF4.0によるデジタル化推進



ヒンジドア事業

- ・ 上期はコロナ影響により停滞したものの、Robust社連結効果もあり増収確保
下期に入りイタリア、イギリスでは回復傾向のため、通期でも増収を見込む
- ・ 北欧でのクロスセリングなどRobust社の統合計画はコロナ影響により進捗が遅れている



ガレージドア事業

- ・ 上期は売上構成の高いフランス、イギリスでのロックダウンの影響が大きく低迷、
下期に入り回復傾向にある
- ・ ドルトムントなどドイツ国内の工場での生産性向上プログラムが順調に進捗



産業用製品事業

- ・ アルファ社(オランダ)製品を中心に拡販を目指したが、コロナ影響により低迷
下期に入っても新規プロジェクトの開始が遅れ、市場の回復も遅れている
- ・ ドイツのサービス事業強化が順調に推移



NF4.0によるデジタル化の推進

- ・ 販売：コロナ影響により一部遅延生じるも全体的には順調に進捗
ガレージドア販売ではWEBサイト活用による発注が順調に浸透（ドイツ）
- ・ 製造、物流関連：デジタル化ツール活用による業務効率の改善図る

7. 基本戦略②：サービス分野の強化とビジネスモデルの拡大

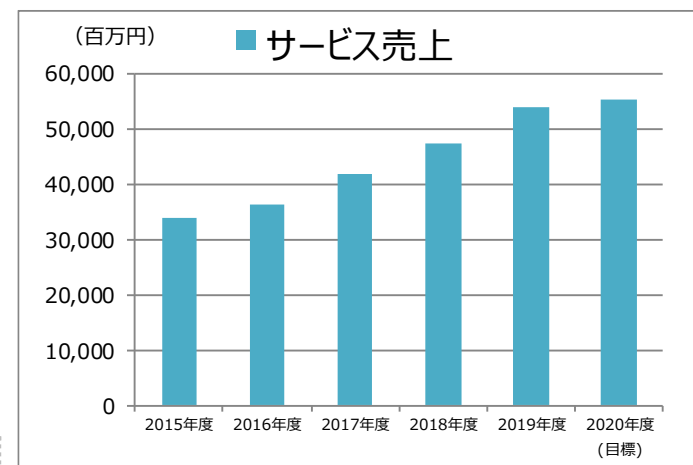


サービス事業

各地域において、顧客ニーズに合わせたサービス事業を提供
新たな顧客開拓やビジネスモデルを拡大

	2019年度	2020年度（予想）
連結サービス売上	540億円	556億円

（アジア除く）



国内

- ・未決着物件の取込による法定検査の拡大
- ・検査後修理の強化によりお客さまへ安全、安心を提供
- ・経年劣化提案および定期点検契約へのビジネスモデル確立による一般メンテナンス物件の拡大（物流施設への提案など）
- ・トレーサビリティを強化し、サービス業務の効率化を推進
- ・鈴木シャッターとのシナジー効果を最大限追求

ODC

- ・NS（米国ドア直販店）、CDS（カナダドア販工店）、DS（米国自動ドア販売店）の事業を再構築
- ・フィールドサービスシステム導入検討中

NF

- ・ドイツでは、サービス事業体制の再編が順調に進展中
- ・オランダ、フランスでのサービス事業の強化を図る
- ・フィールドサービスシステムを順次導入し、収益性の向上を目指す



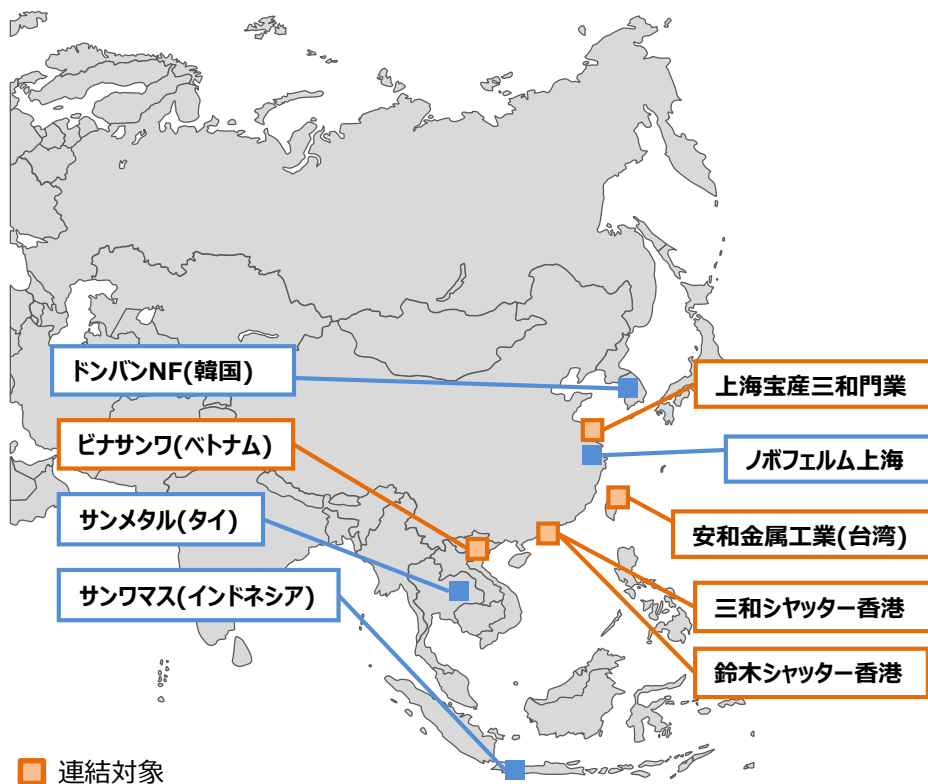
7. 基本戦略③：アジア事業の基盤拡充



アジア

グループ各社の一体運営強化および連結対象事業の拡大

2020年度から鈴木シャッター香港を連結化



(億円)

	売上				営業利益			
	2019年 上期	2019年 通期	2020年 上期	2020年 通期	2019年 上期	2019年 通期	2020年 上期	2020年 通期
連結計	26	64	29	65	△1.3	△3.5	0.3	△3.0

■ 20年度業績進捗

上期は増収増益となった。通期は鈴木シャッター香港の連結化があるものの、ビナサンワ(ベトナム)が事業再構築中であり、不良資産の処理など一時的要因により赤字の見通し。

各社の状況

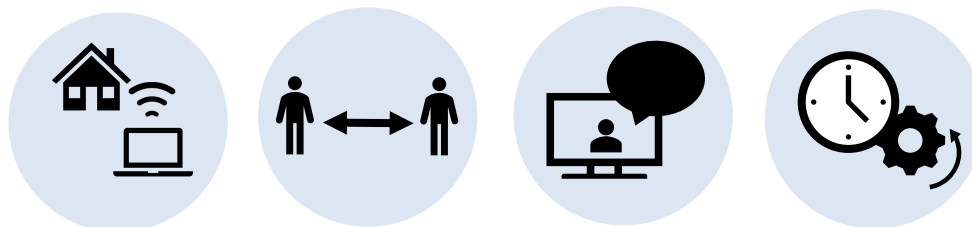
- 中国：宝産三和は、現地競合との価格競争対応として低コスト商品を開発、およびCRを実行中
- 香港：三和香港・鈴木香港の2社のシナジーを早期に発現
- 台湾：安和金属は、新防火基準への対応および既存工場への設備投資による生産能力拡大
- ベトナム：ビナサンワは事業の再構築実施中
- 韓国：ドンバンNFは新工場に移転完了



7. 基本戦略④：働き方改革と生産性向上



働き方改革などにより生産性を改善し、
ニューノーマルに対応した柔軟な働き方を実現



テレワーク（在宅勤務）の推進

2019年度よりモバイルPCを導入し、テレワークの推進、業務効率化を実施。

これにより、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言下では、国内で約半数がテレワークを実施。



ODC本社
(アメリカ)



テレビ会議システムの活用

テレビ会議システムを更新し、タイムリーな情報共有、移動時間、交通費などの効率化を推進。

社内外の打ち合わせや研修などでテレビ会議を活用し、遠隔でのコミュニケーションを可能に。



社内研修



採用活動



打合せ風景
(ODC)

職場での取り組み

事務所や工場などの職場環境での3密回避、衛生管理を徹底。

■ アクリル板の設置



三和シャッター

■ 食堂の分散利用



三和タジマ

■ 共用部の定期的な除菌



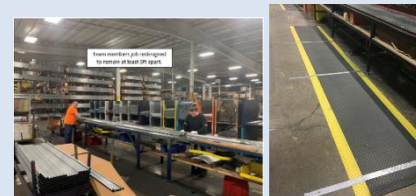
ベニックス

■ 会議室の人数制限



ODC アメリカ

■ ソーシャルディスタンスの確保



ODC アメリカ

■ 出勤前の検温



ノボフェルム フランス

7. 基本戦略⑤ ESGを推進し、社会からより信頼される企業体質へ

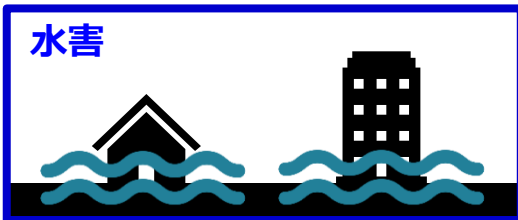


災害から暮らしを守る三和グループの商品



三和グループは、火災だけではなく、水害、風害、地震などの災害に対応する商品を取りそろえ、人々の暮らしや街のインフラを支え続けることをコアビジネスとして展開しています。

そして、防災・減災に対応した商品・サービスを通じて、持続可能な社会の実現を目指すことを、ESGの最重要テーマと位置付けています。



「簡単・すばやく・安全」をキーワードに、建物の出入口のみならず、地下街への出入口を浸水から守り、都市の安全に貢献しています。

ウォーターガードシリーズ



大型化した台風やハリケーンが発生した際に、強風による飛来物から開口部を守ります。

耐風ガードシリーズ

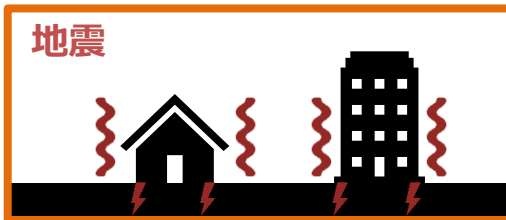


Wind Storm™



防火設備の定期検査報告制度

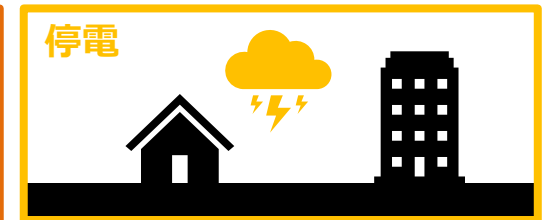
防火シャッター・防火戸などの定期検査報告制度が2016年6月より義務化されています。防火設備は、火災発生時に消防設備と連動して閉鎖することで一定時間延焼を食い止めます。



大規模な地震が発生した際に、被害を最小限に抑えることで、建物内に閉じ込められることなく安全に施設外へ避難できます。



・既設重量シャッター用の落下リスク低減対策



台風や地震によって停電が発生した際に、外部電源を接続することでシャッターを解放でき、BCP対策として有効です。



避難所間仕切



高さ約1.8mのプラスチック製ダンボールを採用することで、避難所においてプライベート空間を確保します。

8. 財務ハイライト



(百万円)

連結BS	19年度 上期実績	比率	20年度 上期実績	比率	前年増減額
流動資産	209,034	61.3	222,863	63.6	13,828
現金・現金同等物	38,470	11.3	75,233	21.5	36,763
売掛金、在庫	156,088	45.8	142,029	40.5	△14,058
固定資産	132,089	38.7	127,783	36.4	△4,306
投資有価証券	22,559	6.6	19,731	5.6	△2,828
総資産	341,124	100.0	350,646	100.0	9,522
有利子負債	61,518	18.0	66,894	19.1	5,375
その他負債	120,610	35.4	115,996	33.1	△4,614
純資産	158,995	46.6	167,756	47.8	8,760

✓ 次ページ連結CFを参照

✓ 減収によるもの

✓ コロナ影響を考慮し、低利の長期借入金を増額

(百万円)

特損の状況	2019年度	2020年度	
	通期実績	上期実績	通期予想
固定資産処分損、売却損	54	16	50
事業再構築費用	204	7	300
子会社減損	536	-	700
関係会社整理損	63	2	0
その他	390	50	250
特別損失合計	1,247	77	1,300

✓ アジア子会社一部設備の減損

8. 財務ハイライト



(百万円)

連結CF	19年度 上期実績	20年度 上期実績	前年増減額
税金等調整前当期純利益	10,617	9,109	△1,508
減価償却費／のれん償却費	5,126	5,797	670
法人税等支払額	△5,935	△6,536	△601
運転資本	△1,586	8,883	10,470
その他	△1,511	5,813	7,324
営業活動CF	6,710	23,067	16,357
投資活動CF	△11,029	△2,296	8,733
FCF（営業+投資）	△4,319	20,771	25,091
財務活動CF	△6,434	△978	5,456
現金及び現金同等物期末残高	38,470	75,233	36,763

下記要因により一時的にキャッシュが積み上がっているが、M&Aなどの成長投資については、積極的に行うスタンスに変わりはない。

- ✓ 減収により売上債権等が減少したことを主因として資金増となった
- ✓ ①19年の鈴木シャッター買収、②20年の有価証券売却増が影響し、対前年比で投資活動CFが減少したことを要因として資金増となった
- ✓ 対前年比で運転資本の減少および投資CFの減少、またコロナ影響を考慮した資金積増しなどにより現金等の残高が大幅に増加

株主還元

■ 配当

・2020年度配当見通し：上期17円、年間34円を予想（前年同額）

※配当性向については35%を目安としている。新型コロナウイルス感染が業績見通しに影響を与えているものの、あくまで限定的なものと考えており、キャッシュフローおよび資金ポジションの水準等を考慮し前年同額に据え置く予想

◆ 參考資料

参考資料1. 連結業績の概要 (セクター別)



(百万円、%)

	2019年度								2020年度											
	上期		下期		通期		期初予想	上期		下期(予想)		通期(予想)								
	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率		利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率							
売上高	199,167		(8.3)	240,993		(6.6)	440,161		(7.4)	178,000	190,949		(Δ4.1)	229,050		(Δ5.0)	390,000	420,000		(Δ4.6)
[前年為替適用]																				
三和シャッター工業	93,661		(12.6)	116,746		(1.2)	210,407		(6.0)	85,900	87,344		(Δ6.7)	109,655		(Δ6.1)	191,300	197,000		(Δ6.4)
その他国内子会社	18,774		(25.0)	32,406		(59.1)	51,180		(44.6)	23,900	23,403		(24.7)	29,426		(Δ9.2)	52,700	52,830		(3.2)
ODC(米国)	56,387		(1.1)	62,089		(2.0)	118,477		(1.6)	46,515	53,877		(Δ4.5)	60,782		(Δ2.1)	98,752	114,660		(Δ3.2)
ノボフェルム(欧州)	36,517		(1.2)	38,405		(2.8)	74,923		(2.0)	29,670	32,206		(Δ11.8)	38,113		(Δ0.8)	63,595	70,320		(Δ6.1)
アジア	2,624			3,797			6,421			3,168	2,888		(10.0)	3,615		(Δ4.8)	7,367	6,503		(1.3)
営業利益	11,064	5.6	(13.6)	23,153	9.6	(6.0)	34,217	7.8	(8.3)	5,100	9,579	5.0	(Δ13.4)	20,420	8.9	(Δ11.8)	22,000	30,000	7.1	(Δ12.3)
[前年為替適用]																				
三和シャッター工業	7,553	8.1	(39.0)	13,619	11.7	(5.5)	21,172	10.1	(15.4)	5,400	7,100	8.1	(Δ6.0)	11,599	10.6	(Δ14.8)	17,000	18,700	9.5	(Δ11.7)
その他国内子会社	203	1.1	(1,007.0)	2,380	7.3	(99.0)	2,583	5.0	(112.8)	424	532	2.3	(162.3)	1,970	6.7	(Δ17.2)	2,360	2,503	4.7	(Δ3.1)
ODC(米国)	2,700	4.8	(Δ22.5)	6,333	10.2	(19.6)	9,033	7.6	(2.9)	140	2,155	4.0	(Δ20.2)	5,244	8.6	(Δ17.2)	3,045	7,400	6.5	(Δ18.1)
ノボフェルム(欧州)	1,349	3.7	(1.9)	2,342	6.1	(Δ6.7)	3,692	4.9	(Δ3.7)	123	Δ9	Δ0.0	(-)	2,810	7.4	(19.9)	1,702	2,800	4.0	(Δ24.2)
アジア	Δ132	Δ5.1		Δ215	Δ5.7		Δ348	Δ5.4		11	33	1.2	(+)	Δ333	Δ9.2	(-)	60	Δ300	Δ4.6	(+)
経常利益	10,786	5.4	(16.6)	22,682	9.4	(7.0)	33,469	7.6	(10.0)	4,600	9,069	4.7	(Δ15.9)	19,930	8.7	(Δ12.1)	21,000	29,000	6.9	(Δ13.4)
[前年為替適用]																				
三和シャッター工業	7,662	8.2	(37.5)	13,733	11.8	(5.6)	21,396	10.2	(15.2)	5,500	7,206	8.3	(Δ6.0)	11,693	10.7	(Δ14.9)	17,200	18,900	9.6	(Δ11.7)
その他国内子会社	250	1.3	(308.9)	2,424	7.5	(98.5)	2,674	5.2	(108.6)	453	611	2.6	(144.2)	1,992	6.8	(Δ17.8)	2,409	2,604	4.9	(Δ2.7)
ODC(米国)	2,335	4.1	(Δ28.5)	6,117	9.9	(24.1)	8,453	7.1	(3.1)	Δ252	1,890	3.5	(Δ19.1)	4,910	8.1	(Δ19.7)	2,226	6,801	5.9	(Δ19.5)
ノボフェルム(欧州)	1,302	3.6	(4.3)	2,272	5.9	(Δ6.3)	3,574	4.8	(Δ2.7)	46	Δ303	Δ0.9	(-)	2,767	7.3	(21.8)	1,552	2,464	3.5	(Δ31.1)
アジア	Δ140	Δ5.4		Δ257	Δ6.8		Δ398	Δ6.2		Δ6	19	0.7	(+)	Δ305	Δ8.5	(-)	22	Δ285	Δ4.4	(+)
持分法適用会社投資損益	Δ38		(+)	Δ110		(+)	Δ148		(+)	Δ142	Δ143		(-)	Δ163		(-)	Δ225	Δ307		(-)
親会社株主に帰属する当期純利益	6,945	3.5	(17.1)	14,701	6.1	(Δ1.8)	21,647	4.9	(3.5)	2,300	5,807	3.0	(Δ16.4)	12,192	5.3	(Δ17.1)	12,500	18,000	4.3	(Δ16.8)
[前年為替適用]																				
三和シャッター工業	5,095	5.4	(38.4)	9,519	8.2	(4.5)	14,614	6.9	(14.3)	3,700	4,803	5.5	(Δ5.7)	8,096	7.4	(Δ15.0)	11,700	12,900	6.5	(Δ11.7)
その他国内子会社	125	0.7	(+)	1,343	4.1	(63.4)	1,469	2.9	(80.7)	261	361	1.5	(188.1)	1,319	4.5	(Δ1.8)	1,562	1,681	3.2	(14.4)
ODC(米国)	1,713	3.0	(Δ26.5)	4,521	7.3	(97.0)	6,234	5.3	(34.8)	Δ252	1,371	2.5	(Δ19.9)	3,702	6.1	(Δ18.1)	1,680	5,074	4.4	(Δ18.6)
ノボフェルム(欧州)	832	2.3	(Δ2.6)	1,436	3.7	(Δ16.1)	2,269	3.0	(Δ11.6)	Δ57	Δ267	Δ0.8	(-)	1,747	4.6	(21.6)	1,000	1,480	2.1	(Δ34.8)
アジア	Δ140	Δ5.4		Δ271	Δ7.1		Δ412	Δ6.4		Δ13	Δ28	Δ1.0	(+)	Δ354	Δ9.8	(-)	Δ7	Δ382	Δ5.9	(+)
持分法適用会社投資損益	Δ38		(+)	Δ110		(+)	Δ148		(+)	Δ142	Δ143		(-)	Δ163		(-)	Δ225	Δ307		(-)

<欧米現地通貨>

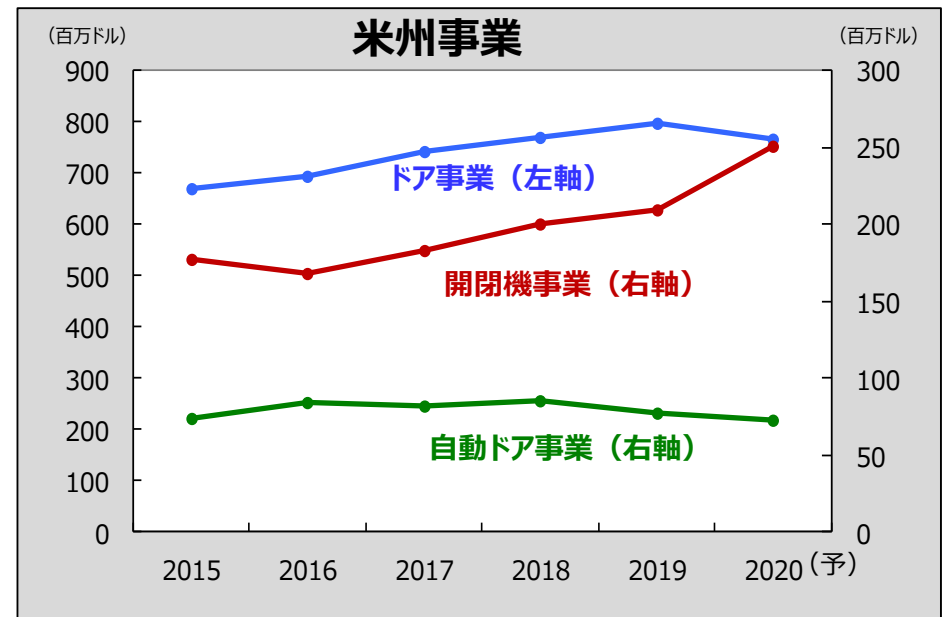
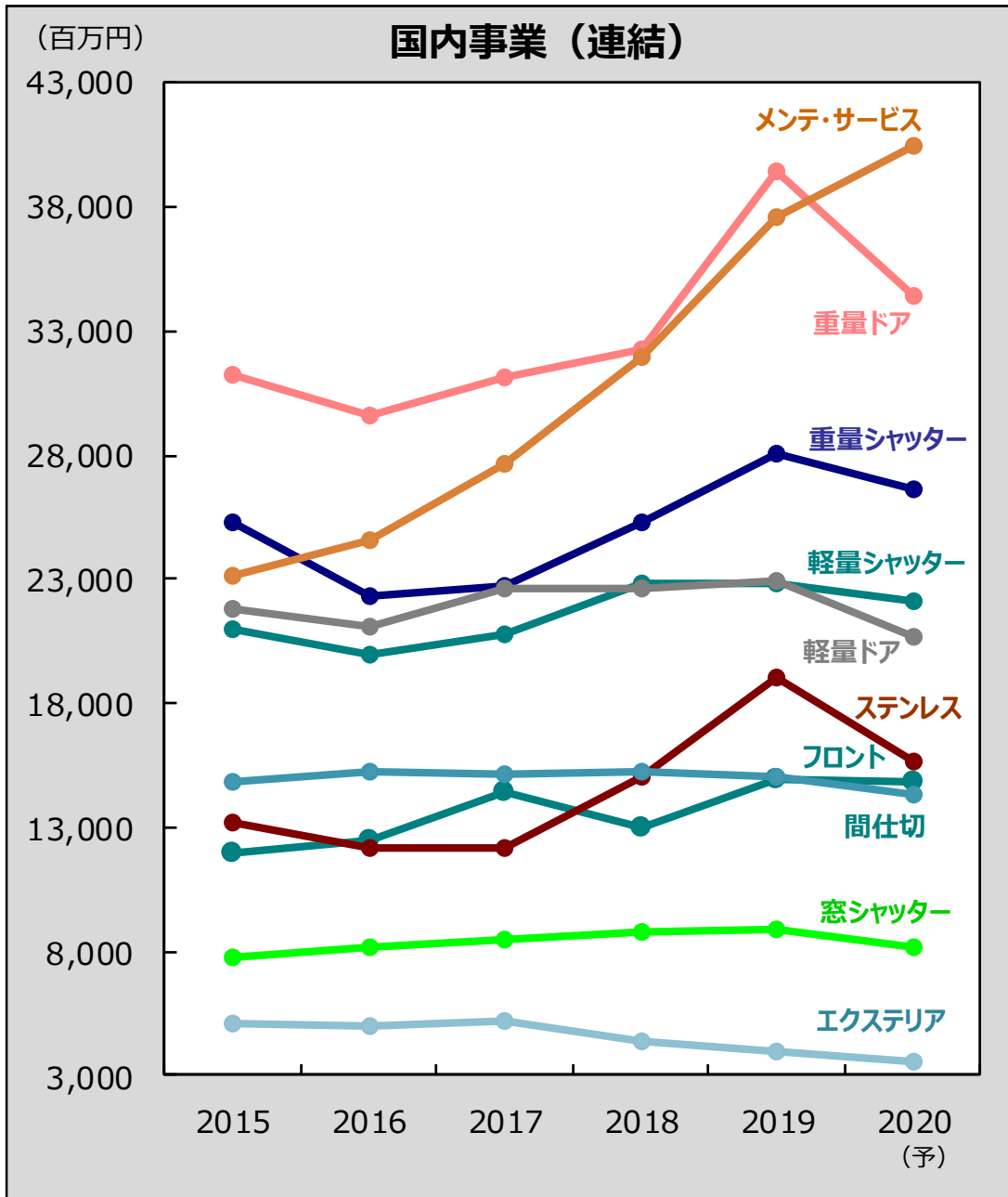
(千ドル、千ユーロ、%)

	2019年度								2020年度											
	上期		下期		通期		期初予想	上期		下期(予想)		通期(予想)								
	利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率		利益率	増減率	利益率	増減率	利益率	増減率							
売上	\$512,755		(Δ0.2)	\$571,804		(5.4)	\$1,084,559		(2.6)	\$443,000	\$497,755		(Δ2.9)	\$594,244		(3.9)	\$940,500	\$1,092,000		(0.7)
ノボフェルム(欧州)	€294,332		(6.5)	€319,038		(10.5)	€613,370		(8.5)	€258,000	€269,737		(Δ8.4)	€316,262		(Δ0.9)	€553,000	€586,000		(Δ4.5)
営業	\$24,553	4.8	(Δ23.6)	\$58,139	10.2	(22.6)	\$82,693	7.6	(3.9)	\$1,340	\$19,915	4.0	(Δ18.9)	\$50,561	8.5	(Δ13.0)	\$29,000	\$70,477	6.5	(Δ14.8)
ノボフェルム(欧州)	€10,878	3.7	(7.3)	€19,350	6.1	(Δ0.0)	€30,228	4.9	(2.5)	€1,070	Δ€83	Δ0.0	(-)	€23,417	7.4	(21.0)	€14,800	€23,334	4.0	(Δ22.8)

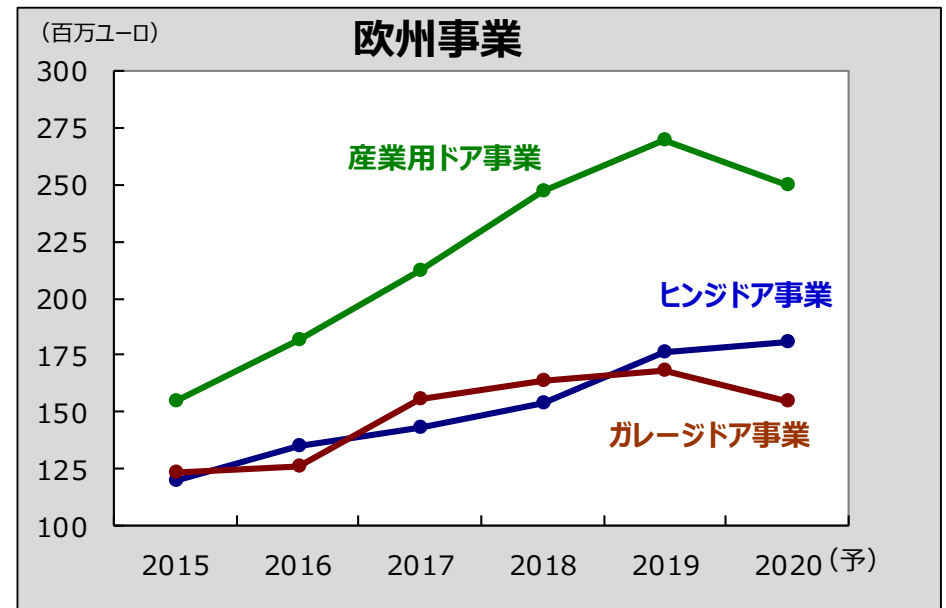
- 2020年度の [] 内は、前年為替換算レート (USドル・ユーロ) を適用した数値を示す。
- 数値は切り捨て。()内は前年同期増減率、(+)は前年比増加、(-)は前年比減少。
- 在外子会社等にかかる為替換算レートは期中平均レートを使用。
- 三和ホールディングス及び連結相殺が表示されていないため、合計とは一致しない。
- 2020年度より「アジア」に鈴木シャッター(香港)を新たに連結。

為替レート	2019年度		2020年度	
	上期	通期	上期	通期(予想)
USドル	109.97	109.24	108.24	105.00
ユーロ	124.07	122.15	119.40	120.00

参考資料2. 主要商品売上動向（セクター別）



従来の施工サービス部門・車両ドア部門はドア事業に含めて表示



参考資料3. 日本：製品別受注高・売上高（三和シャッター工業）



(百万円・%)

	2019年度										2020年度									
	上期			下期			通期				上期			下期(予想)			通期(予想)			
	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	売上高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比
軽量シャッター	(1.3) 11,400	(4.7) 10,949	11.7	(△5.0) 11,127	(△6.9) 11,473	9.8	(△1.9) 22,527	11.0	(△1.6) 22,422	10.7	(△3.6) 10,986	(△3.0) 10,622	12.2	(△1.0) 11,013	(△4.3) 10,977	10.0	(△2.3) 22,000	10.6	(△3.7) 21,600	11.0
重量シャッター	(8.5) 12,918	(15.8) 11,300	12.1	(10.5) 13,611	(△3.5) 14,875	12.7	(9.6) 26,530	13.0	(4.0) 26,175	12.4	(5.2) 13,592	(△9.5) 10,228	11.7	(2.2) 13,907	(△3.4) 14,371	13.1	(3.7) 27,500	13.3	(△6.0) 24,600	12.5
O S D	(8.4) 2,623	(9.6) 2,268	2.4	(4.2) 2,591	(△4.2) 2,789	2.4	(6.3) 5,214	2.6	(1.5) 5,057	2.4	(10.4) 2,896	(△2.3) 2,215	2.5	(4.3) 2,703	(3.4) 2,884	2.6	(7.4) 5,600	2.7	(0.8) 5,100	2.6
シャッター関連商品	(7.5) 7,044	(24.2) 6,721	7.2	(△11.6) 6,691	(4.8) 7,680	6.6	(△2.7) 13,735	6.7	(13.0) 14,402	6.8	(△6.3) 6,597	(△14.2) 5,764	6.6	(7.6) 7,202	(△1.9) 7,535	6.9	(0.5) 13,800	6.7	(△7.7) 13,300	6.8
ビル・マンションドア	(5.5) 26,551	(12.7) 23,507	25.1	(3.8) 27,264	(11.8) 37,455	32.1	(4.7) 53,816	26.4	(12.1) 60,963	29.0	(1.7) 27,009	(0.7) 23,672	27.1	(7.4) 29,290	(△18.2) 30,627	27.9	(4.6) 56,300	27.2	(△10.9) 54,300	27.6
住宅ドア	(△11.8) 1,974	(△7.9) 2,009	2.1	(△22.7) 1,767	(△23.1) 1,749	1.5	(△17.3) 3,741	1.8	(△15.7) 3,759	1.8	(△22.2) 1,536	(△23.1) 1,545	1.8	(△28.5) 1,263	(△28.3) 1,254	1.1	(△25.2) 2,800	1.4	(△25.5) 2,800	1.4
窓製品	(5.6) 4,488	(9.0) 4,467	4.8	(△5.2) 4,341	(△4.9) 4,362	3.7	(0.0) 8,830	4.3	(1.7) 8,829	4.2	(△1.1) 4,438	(△2.1) 4,374	5.0	(△13.4) 3,761	(△14.6) 3,725	3.4	(△7.1) 8,200	4.0	(△8.3) 8,100	4.1
エクステリア製品	(△3.9) 1,973	(△7.8) 1,968	2.1	(△0.8) 1,915	(△8.5) 1,929	1.7	(△2.4) 3,888	1.9	(△8.2) 3,898	1.9	(△15.3) 1,671	(△16.3) 1,647	1.9	(0.7) 1,928	(△4.0) 1,852	1.7	(△7.4) 3,600	1.7	(△10.2) 3,500	1.8
間仕切製品	(6.1) 7,044	(21.7) 5,619	6.0	(17.6) 7,611	(10.5) 8,303	7.1	(11.8) 14,656	7.2	(14.8) 13,923	6.6	(△3.8) 6,780	(△12.6) 4,910	5.6	(15.9) 8,819	(7.1) 8,889	8.1	(6.4) 15,600	7.5	(△0.9) 13,800	7.0
ステンレス製品	(△3.0) 4,842	(11.6) 4,359	4.7	(1.6) 4,538	(31.3) 6,417	5.5	(△0.8) 9,381	4.6	(22.6) 10,777	5.1	(△25.2) 3,621	(△17.9) 3,578	4.1	(7.5) 4,878	(△28.0) 4,621	4.2	(△9.4) 8,500	4.1	(△23.9) 8,200	4.2
フロント製品	(△8.9) 1,121	(△30.4) 887	0.9	(25.3) 1,556	(△5.1) 1,480	1.3	(8.3) 2,677	1.3	(△16.5) 2,367	1.1	(33.3) 1,495	(23.4) 1,095	1.3	(16.0) 1,804	(8.4) 1,604	1.5	(23.2) 3,300	1.6	(14.0) 2,700	1.4
自動ドアエンジン	(△0.4) 1,292	(△8.2) 1,141	1.2	(1.6) 1,304	(△0.8) 1,354	1.2	(0.6) 2,597	1.3	(△4.3) 2,496	1.2	(△8.0) 1,189	(△1.9) 1,119	1.3	(8.1) 1,410	(1.9) 1,380	1.3	(0.1) 2,600	1.3	(0.1) 2,500	1.3
メンテ・サービス	(11.5) 16,580	(14.9) 15,498	16.5	(2.7) 17,283	(2.1) 18,451	15.8	(6.8) 33,863	16.6	(7.6) 33,949	16.1	(1.3) 16,792	(△1.2) 15,308	17.5	(8.2) 18,707	(2.4) 18,891	17.2	(4.8) 35,500	17.1	(0.7) 34,200	17.4
その他	(△39.5) 1,077	(73.7) 2,961	3.2	(13.2) 1,588	(△204.5) △1,577	△1.4	(△16.3) 2,666	1.3	(△57.0) 1,383	0.7	(△33.3) 718	(△57.4) 1,261	1.4	(△38.2) 981	(△165.9) 1,038	0.9	(△36.2) 1,700	0.8	(66.2) 2,300	1.2
合計	(4.4) 100,934	(12.6) 93,661	100.0	(2.3) 103,194	(1.2) 116,746	100.0	(3.4) 204,128	100.0	(6.0) 210,407	100.0	(△1.6) 99,325	(△6.7) 87,344	100.0	(4.3) 107,674	(△6.1) 109,655	100.0	(1.4) 207,000	100.0	(△6.4) 197,000	100.0
	19年9月末手持残高			20年3月末手持残高			3月末手持残高		前年同期増減額		20年9月末手持残高			21年3月末手持残高(予想)			3月末手持残高		前年同期増減額	
手持残高	105,078			88,329			△7,539		100,210			98,228			9,899					

1. ()内は、前年増減率を示す。 2. 手持残高は、未発注・未仕入・仕掛品の合計で示す。

参考資料4. 米州：製品別売上高（ODC）



《 ODC Group 業績 》

(千US\$・%)

	2019年度						2020年度					
	上期		下期		通期		上期(実績)		下期(予想)		通期(予想)	
		売上比		売上比		売上比		売上比		売上比		売上比
製品別売上高	(0.9)		(6.0)		(3.5)		(△4.2)		(△3.1)		(△3.6)	
	378,338	73.8	418,746	73.2	797,084	73.5	362,635	72.9	405,764	68.3	768,400	70.4
	ドア											
製品別売上高	(0.7)		(7.9)		(4.5)		(6.4)		(31.0)		(19.6)	
	97,211	19.0	112,638	19.7	209,850	19.3	103,450	20.8	147,550	24.8	251,000	23.0
	開閉機											
製品別売上高	(△12.5)		(△6.8)		(△9.6)		(△14.9)		(1.3)		(△6.5)	
	37,206	7.3	40,418	7.1	77,624	7.2	31,670	6.4	40,930	6.9	72,600	6.6
	自動ドア											
売上高	(△0.2)		(5.4)		(2.6)		(△2.9)		(3.9)		(0.7)	
	512,755	100.0	571,804	100.0	1,084,559	100.0	497,755	100.0	594,244	100.0	1,092,000	100.0
営業利益	(△23.6)		(22.6)		(3.9)		(△18.9)		(△13.0)		(△14.8)	
	24,553	4.8	58,139	10.2	82,693	7.6	19,915	4.0	50,561	8.6	70,477	6.5
経常利益	(△29.5)		(27.2)		(4.2)		(△17.8)		(△15.7)		(△16.3)	
	21,239	4.1	56,143	9.9	77,383	7.1	17,466	3.5	47,310	8.1	64,777	5.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	(△27.5)		(103.1)		(36.2)		(△18.7)		(△14.1)		(△15.3)	
	15,580	3.0	41,492	7.3	57,072	5.3	12,673	2.5	35,656	6.1	48,330	4.4

1. ()内は前年増減率を示す。

2. 2019年度より「施工サービス部門」と「車両ドア部門」を「ドア部門」に含めて表示。

参考資料5. 欧州：製品別売上高（NF）



《NF Group 業績》

(千€・%)

		2019年度						2020年度					
		上期		下期		通期		上期(実績)		下期(予想)		通期(予想)	
		売上比		売上比		売上比		売上比		売上比		売上比	
製品別 売上高	ヒンジドア	(6.7)		(20.4)		(13.8)		(3.4)		(2.4)		(2.9)	
		79,714	27.1	95,945	30.1	175,660	28.6	82,423	30.6	98,276	31.1	180,700	30.8
	ガレージドア	(3.2)		(2.0)		(2.6)		(△18.2)		(3.4)		(△7.4)	
		84,190	28.6	83,623	26.2	167,814	27.4	68,908	25.5	86,491	27.3	155,400	26.5
	産業用ドア	(8.6)		(9.8)		(9.2)		(△9.2)		(△5.7)		(△7.4)	
		130,427	44.3	139,469	43.7	269,896	44.0	118,405	43.9	131,494	41.6	249,900	42.6
売上高		(6.5)		(10.5)		(8.5)		(△8.4)		(△0.9)		(△4.5)	
		294,332	100.0	319,038	100.0	613,370	100.0	269,737	100.0	316,262	100.0	586,000	100.0
営業利益		(7.3)		(△0.0)		(2.5)		(-)		(21.0)		(△22.8)	
		10,878	3.7	19,350	6.1	30,228	4.9	△83	△0.0	23,417	7.4	23,334	4.0
経常利益		(9.8)		(0.3)		(3.5)		(-)		(23.0)		(△29.8)	
		10,497	3.6	18,767	5.9	29,264	4.8	△2,541	△0.9	23,075	7.3	20,534	3.5
親会社株主に帰属する 当期純利益		(2.5)		(△10.2)		(△6.0)		(-)		(22.8)		(△33.6)	
		6,708	2.3	11,868	3.7	18,576	3.0	△2,240	△0.8	14,575	4.6	12,335	2.1

1. ()内は前年増減率を示す。

参考資料6. 外部環境

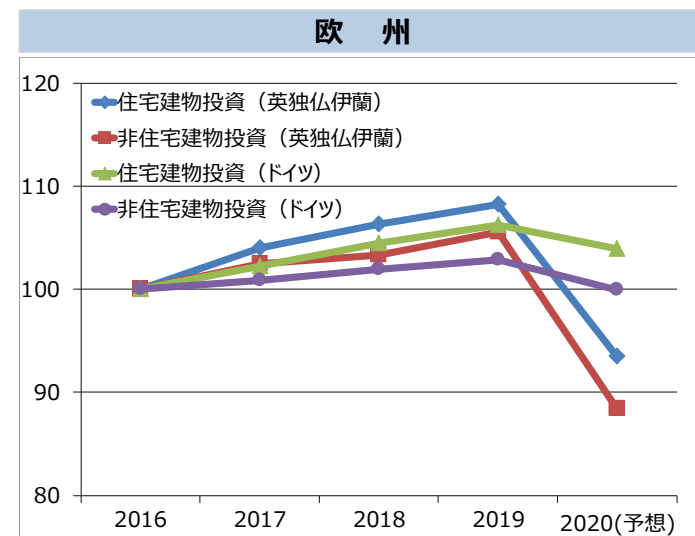
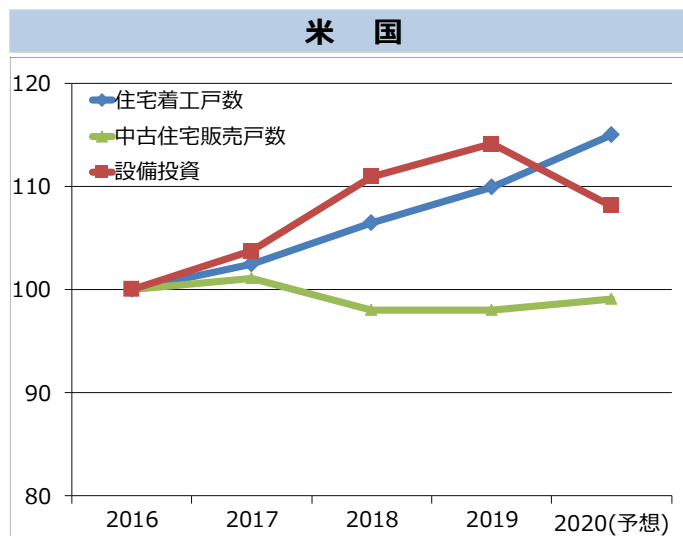
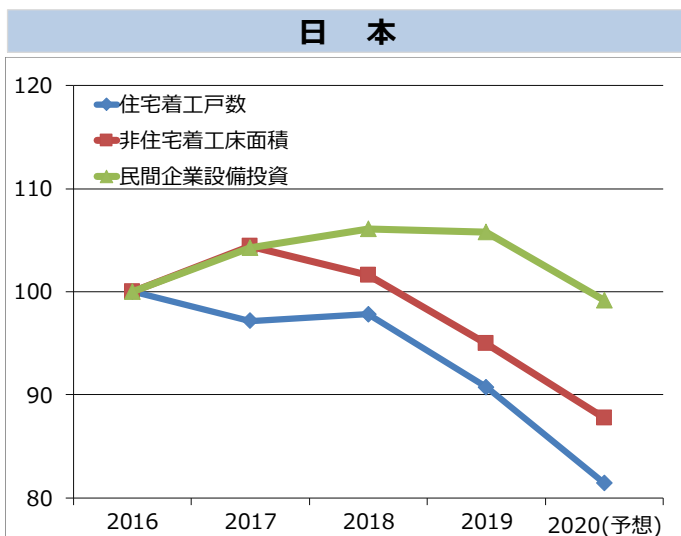


■ 建設環境

			2016		2017		2018		2019		2020 予想	
日本	住宅着工戸数	千戸	974	5.8%	946	-2.8%	953	0.7%	884	-7.3%	793	-10.2%
	非住宅着工床面積	千㎡	45,299	2.7%	47,293	4.4%	46,037	-2.7%	43,019	-6.6%	39,752	-7.6%
	民間企業設備投資	10億円	80,812	-0.4%	84,268	4.3%	85,744	1.8%	85,492	-0.3%	80,106	-6.3%
米国	住宅着工戸数	千戸	1,174	5.6%	1,203	2.5%	1,250	3.9%	1,290	3.2%	1,350	4.7%
	中古住宅販売戸数	千戸	5,450	3.8%	5,510	1.1%	5,340	-3.1%	5,340	0.0%	5,400	1.1%
	設備投資	10億ドル	2,433	0.5%	2,524	3.7%	2,699	6.9%	2,777	2.9%	2,630	-5.3%
欧州	住宅建物投資（英独仏伊蘭）	百万ユーロ	508,766	9.0%	529,228	4.0%	541,071	2.2%	550,555	1.8%	475,692	-13.6%
	非住宅建物投資（英独仏伊蘭）	百万ユーロ	315,106	5.0%	322,785	2.4%	325,606	0.9%	332,467	2.1%	278,591	-16.2%
ドイツ	住宅建物投資	百万ユーロ	201,923	3.9%	206,423	2.2%	210,974	2.2%	214,559	1.7%	209,915	-2.2%
	非住宅建物投資	百万ユーロ	93,554	0.2%	94,373	0.9%	95,371	1.1%	96,197	0.9%	93,488	-2.8%

※出典：（日）国土交通省2020.04、内閣府2020.09、建設経済研究所2020.07（米）商務省2020.10、National Association of Realtors2020.09、（欧）Euroconstruct2020.06
 ※日本は年度ベース（4-3月）、米欧は暦年ベース（1-12月） 日米の2020設備投資予想はエッセイ基礎研究所2020.10

■ 建設環境の推移（2016年=100としたときの指数）



参考資料7. 主要経営指標



(百万円、%)

		2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	
								期初予想	修正予想
売上高	(百万円)	339,045	365,615	353,922	385,673	409,990	440,161	390,000	420,000
営業利益	(百万円)	26,334	26,870	26,440	28,322	31,593	34,218	22,000	30,000
親会社株主に帰属する純利益	(百万円)	12,857	14,627	17,070	18,280	20,910	21,647	12,500	18,000
売上高営業利益率	(%)	7.8%	7.3%	7.5%	7.3%	7.7%	7.8%	5.6%	7.1%
ROE：純利益/純資産（期首・期末平均）	(%)	10.7%	11.4%	12.7%	12.7%	13.5%	13.3%	7.5%	10.6%
自己資本比率（期末）	(%)	39.1%	41.7%	43.0%	45.2%	47.4%	46.3%	46.9%	47.9%
期末純資産	(百万円)	126,748	130,334	139,906	151,121	161,604	165,634	170,735	176,164
期末総資産	(百万円)	323,327	310,269	323,393	331,686	338,432	354,023	360,000	364,000
期末有利子負債	(百万円)	88,484	70,798	74,739	65,945	61,217	63,730	60,760	64,800
DELシオ：有利子負債/純資産	(倍)	0.70	0.54	0.53	0.44	0.38	0.38	0.36	0.37
SVA(Sanwa Value Added)	(百万円)	7,770	8,290	8,057	9,026	12,693	13,974	5,437	11,238
EPS：1株純利益	(円)	54.1	63.1	74.6	80.9	92.9	97.1	56.6	81.5
発行済株式数(期中平均)	(千株)	237,694	231,923	228,782	225,761	224,979	222,852	220,845	220,845

(注) 1. SVAは当社独自方式のEVAの数値。

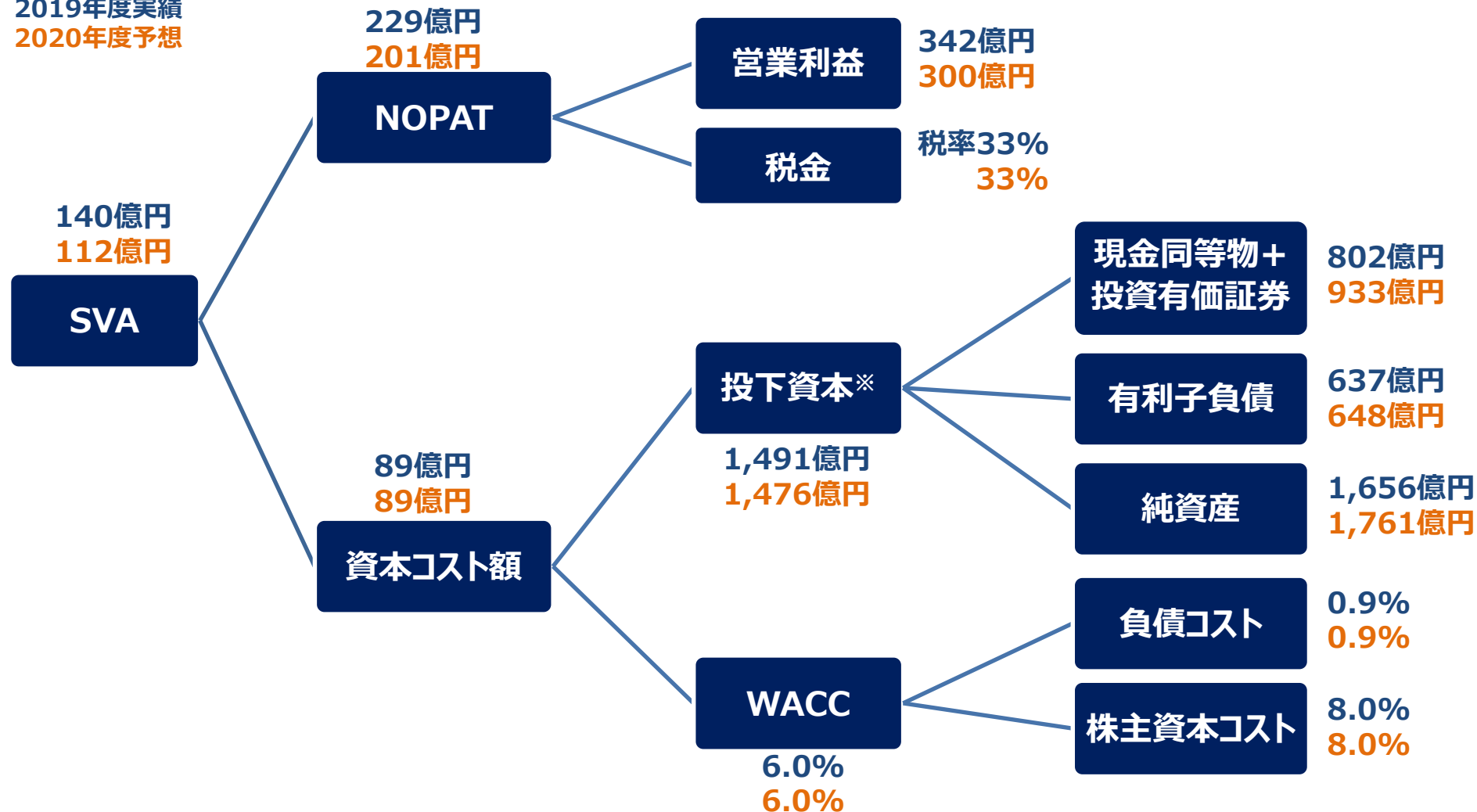
参考資料8. SVAツリー



SVA

数値は連結数値
2019年度実績
2020年度予想

SVAは、当社独自の経済的付加価値指標として2001年より採用
株主・債権者の期待収益を意識した事業運営を行うことを目標



※投下資本 = 運転資本 + 固定資産
= 純資産 + 有利子負債 - (現金同等物 + 投資有価証券)

参考資料9. 設備投資額と減価償却費



《連結の設備投資額と減価償却費》

(百万円)

	2018年度		2019年度		2020年度	
	上期	通期	上期	通期	上期(実績)	通期(見通し)
設備投資額	6,818	12,367	3,550	8,419	3,557	10,177
三和ホールディングス	117	222	119	296	177	361
三和シャッター工業	1,086	2,003	828	1,805	1,014	3,395
国内連結子会社	227	360	142	379	179	391
為替レート ()内は千ドル表示	108.50 (\$19,573)	110.36 (\$36,048)	109.97 (\$15,762)	109.24 (\$29,633)	108.24 (\$12,364)	105.00 (\$28,438)
ODCグループ	2,123	3,978	1,733	3,237	1,338	2,986
為替レート ()内は千ユーロ表示	130.65 (€24,976)	130.01 (€44,642)	124.07 (€5,790)	122.15 (€21,933)	119.40 (€6,434)	120.00 (€22,783)
Novoformグループ	3,263	5,803	718	2,679	768	2,734
アジア連結子会社	-	-	8	20	80	310
減価償却費	4,637	9,498	5,126	11,562	5,797	11,724
三和ホールディングス	264	532	262	534	265	531
三和シャッター工業	912	1,981	880	1,937	973	2,237
国内連結子会社	159	333	185	429	164	362
	(\$14,094)	(\$29,019)	(\$15,482)	(\$31,697)	(\$18,613)	(\$35,180)
ODCグループ	1,529	3,202	1,702	3,462	2,014	3,694
	(€7,576)	(€15,371)	(€10,783)	(€23,358)	(€12,871)	(€27,033)
Novoformグループ	989	1,998	1,337	2,853	1,536	3,244
アジア連結子会社	-	-	39	84	43	98
のれん償却額	781	1,449	717	2,260	797	1,558

参考資料10. トピックス



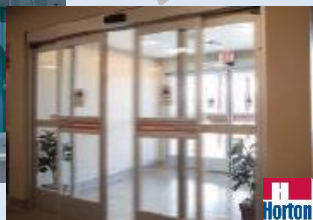
ニューノーマルに対応した商品開発 従来からラインアップしている非接触操作を可能とする商品や抗菌素材を使用した商品の提案に加えて、感染症予防に向けた安全対策やニューノーマルに対応した商品・サービスの開発に取り組んでまいります。

非接触



自動ドア

病院や公共施設向け



自動(リニア)仕様

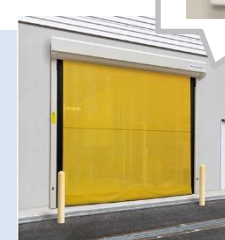


軽量引き戸

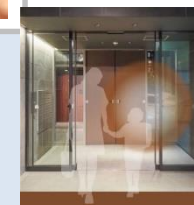


自動折り戸

非接触スイッチ



高速シートシャッター



マンション
ハンズフリーシステム

抗菌



軽量引き戸

抗菌樹脂製の引き棒



トイレブース

抗菌仕様のスライドボルト



非対面



集合住宅向け
宅配ボックス



マンションドア
宅配ロッカー付き仕様



戸建て住宅用
宅配ボックス



NEW!

組立式間仕切「ファミプラ」



2020年7月に病院の待合室での密集・密接防止、オフィスの打合せスペースでの飛沫対策など、様々な用途に対応できるようにアクリルの透明パネルを追加してリニューアル



NEW!

ドアハンドル「ArmO」



既存のドアの取っ手に、ハンドルを取付けることで腕で開けることが可能に。素手ではなく、服などで覆われている腕を使用することで、ウイルスの拡散を防ぎます。